



## ユーシービージャパンと HOKUTO

### 化膿性汗腺炎領域における協働プロジェクトを発表

「ビンゼレックス®」適応追加承認を受け 2024年10月より始動 ～ 化膿性汗腺炎の治療とケアの向上へ ～

ユーシービージャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：菊池 加奈子、以下「ユーシービージャパン」）と、医師向け臨床支援アプリ「HOKUTO」を提供する株式会社 HOKUTO（所在地：東京都港区、代表取締役会長：五十嵐 北斗、代表取締役社長/医師：山下 颯太、以下「HOKUTO」）は、2024年9月24日に、ヒト化抗ヒト IL-17A/IL-17F モノクローナル抗体製剤『ビンゼレックス®』に「化膿性汗腺炎」の適応が追加承認されたことを受け、新たな協働プロジェクトを開始します。本プロジェクトは、2024年10月より始動し、化膿性汗腺炎の治療法とケアの向上を目指して活動を展開してまいります。

本取り組みが、化膿性汗腺炎治療に関わる医師の負担を軽減し、患者さんへより質の高い医療を提供できるよう尽力してまいります。

#### プロジェクト背景

化膿性汗腺炎は、わきの下、臀部、鼠径部、乳首や肛門周辺の皮膚に炎症が起こり、激しい痛みや膿の蓄積や排出を伴う慢性疾患です。これまで治療選択肢が限られていたこの疾患に対し、2024年9月24日にビンゼレックスが適応追加を承認されたことで、新たな治療の可能性が広がりました。さらに、医師向け臨床支援アプリ「HOKUTO」は、医師が必要とする情報に迅速にアクセスできる高度な検索システムを備えており、これにより希少疾患領域における医師の情報収集をサポートすることを目指しています。このような背景から、化膿性汗腺炎などの患者数が少ない疾患の治療薬の開発に積極的に取り組むユーシービージャパンと、医師向け臨床支援アプリを提供する HOKUTO は、希少疾患に関わる医師の負担を軽減し、より質の高い医療を患者さんに提供するための取り組みを開始しました。

#### 今回のプロジェクト内容

本プロジェクトでは、医師向け臨床支援アプリ「HOKUTO」を活用し、化膿性汗腺炎に関する最新の知見を多様な形で医師に提供することで、臨床現場における診断や治療方針の決定に役立つ情報へのアクセス向上を目指します。（2024年10月以降順次公開予定）

#### ユーシービージャパン コメント

ユーシービージャパンは、化膿性汗腺炎の診断や治療に関連する情報と弊社製品であるヒト化抗ヒト IL-17A/IL-17F モノクローナル抗体製剤「ビンゼレックス®」の適正使用に関する情報を、医師向け臨床支援アプリ「HOKUTO」から配信いたします。HOKUTO 社との協働プロジェクトを通して幅広い医療従事者に適切な情報を届けることで、化膿性汗腺炎の治療発展に貢献してまいります。



## HOKUTO コメント

HOKUTO は、皮膚科領域への注力をさらに強化しており、今回のプロジェクトは特に化膿性汗腺炎という希少な疾患に対する診療支援を充実させるものです。新たな治療法を普及させることで、より多くの患者さんが適切なケアを受けることができるようになると確信しています。

現在、HOKUTO アプリを利用している医師は 10 万人を超えており、さまざまな分野の医師にご活用いただいています。このプロジェクトを通じて、医師が最新の治療情報に簡単にアクセスできるようにし、患者さんにより良い治療を提供できる環境づくりを進めてまいります。

## ビンゼレックス®（ビメキズマブ）について

ビンゼレックスは、炎症性疾患の発症に重要な役割を果たしている炎症性サイトカインである IL-17A と IL-17F をともに選択的かつ直接的に阻害するヒトモノクローナル IgG1 抗体です<sup>1</sup>。ビンゼレックスは 2022 年 1 月 20 日に、既存治療で効果不十分な尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症に対して厚生労働省より製造販売承認を取得し、同年 4 月 20 日より販売を開始しました。また、乾癬性関節炎、強直性脊椎炎および X 線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎への適応追加の承認を取得しました<sup>2, 3, 4</sup>。

## 化膿性汗腺炎について

化膿性汗腺炎（HS）は、慢性かつ再発性の痛みを伴う消耗性の炎症性皮膚免疫疾患です<sup>5,6</sup>。主な症状は、炎症性結節、膿瘍、排膿性瘻孔（いくつかの結節や膿瘍が皮膚の下でつながり、トンネルのようになった状態）で、好発部位として、腋窩や鼠径部、臀部、肛門周囲、乳房下部などに発症します<sup>5,6</sup>。HS は再発を繰り返し、病変部位の重度の痛みは患者さんの QOL に影響します<sup>5,6</sup>。HS は思春期以降の人にみられ、試験を実施したほとんどの国で人口の約 1% が罹患しています<sup>5,6</sup>。本邦においては疫学調査がなされているものの正確な患者数や有病率は不明です。欧米では HS 患者の約三分の一に HS の家族歴がありますが、日本においては 2～3% と報告されています<sup>4</sup>。痛み、排膿、瘢痕といった症状は、身体的な負担だけでなく、周囲の目が気になることで、社会的孤立や自尊心の低下につながり、対人関係、教育、仕事など、あらゆる生活および精神領域に影響を及ぼす可能性があります<sup>5,7,8</sup>。

## UCB（ユーシービー）について

UCB（[www.ucb.com](http://www.ucb.com)）は、ベルギーのブリュッセルに本社を置くグローバルバイオファーマで、ニューロロジーや免疫・炎症領域の重篤な疾患と共に生きる患者さんのより良い生活の実現を目指して、革新的な医薬品の研究開発ならびにソリューションの提供に力を注いでいます。約 40 カ国に拠点を置き、従業員数は 9,000 名あまりを擁しており、2023 年の収益は 53 億ユーロでした。UCB はユーロネクスト・ブリュッセル証券市場に上場しています。

ユーシービー・ジャパン株式会社（<https://www.ucbjapan.com>）は UCB の日本法人として 1988 年に設立され、抗てんかん薬、関節リウマチ治療薬および乾癬治療薬を中心に医薬品事業を展開してきました。2023 年より希少疾患領域でも治療薬の販売を開始しました。患者さんにとっての価値を創造するバイオファーマリーダーとして、従来の治療で十分な改善が得られなかった患者さんに、新たな治療の選択肢を提供することを目指しています。



## 株式会社 HOKUTO について

HOKUTOは、「より良いアウトカムを求める世界の医療従事者のために」をミッションに掲げる医療 xIT スタートアップです。医師の業務負担を軽減するための臨床支援アプリ「HOKUTO」を中心に、医学生の病院就活支援サービス「HOKUTO resident」、医療系企業向けのマーケティング支援サービス「HOKUTO Marketing Solutions」などを開発・運営しています。

## 出典

1. Glatt S, Helmer E, Haier B, et al. First-in-human randomized study of bimekizumab, a humanized monoclonal antibody and selective dual inhibitor of IL-17A and IL-17F, in mild psoriasis. *Br J Clin Pharmacol.* 2017;83(5):991-1001.
2. プレスリリース 2022.1.20 ビンゼレックス承認 JP-N-BK-PSO-2200004.pdf (ucbjapan.com)
3. プレスリリース 2022.4.20 [https://www.ucbjapan.com/sites/default/files/2022-04/BimzelexJPNBKPSO2200036\\_0.pdf](https://www.ucbjapan.com/sites/default/files/2022-04/BimzelexJPNBKPSO2200036_0.pdf)
4. プレスリリース 2023.12.22 <https://www.ucbjapan.com/sites/default/files/2023-12/hinseretsukurjicunzhiliaotexiaoguobushifennaganxuanxingguanjiyanqiangzhixingjichuiyanoyohixianjizhunwomantasanaitizhouxingjichuiguanjiyannozhiliaoyaotoshiteshiyingzhuijianochengrenqude.pdf>
5. Jemec GBE. Clinical practice. Hidradenitis suppurativa. *N Engl J Med.* 2012;366(2):158-164.
6. Sabat R, Jemec GBE, Matusiak L. et al. Hidradenitis suppurativa. *Nat Rev Dis Primers.* 2020;6:18.
7. 化膿性汗腺炎診療の手引き策定委員会、葉山惟大、井上里佳、大槻マミ太郎ほか、「化膿性汗腺炎診療の手引き 2020」『日本皮膚科学会雑誌』2021年131巻1号 p.1-28
8. Koumaki D, Ourania E, Bozi E, et al. Perspectives On Perceived Stigma And Self-Stigma In Patients With Hidradenitis Suppurativa. *Clin Cosmet Investig Dermatol.* 2019;12:785-790.

報道関係お問合せ:

ユーシービージャパン株式会社 広報

03-6864-7650